

令和2年度 京都市立桂徳小学校 学校経営方針

めざす学校像

- ・子どもが毎日通いたくなる学校
- ・保護者・地域に信頼される学校

めざす教職員像

- ・一人一人の子どもを理解し、愛情をもって関わっていく職員
- ・研修や研究等、自己研鑽に励み切磋琢磨して高め合う職員
- ・明るく仲の良い助け合える職員集団

京都市の学校教育・目指す子ども像

「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども」

令和2年度 学校教育において重視する視点

■子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、「自ら学ぶ力」と

「自ら律する力」を学校全体の教育活動の中で高める。

◎主体的・対話的で深い学びを重視した授業を通して、学びの質を高める。

◎日々の授業と家庭学習との連動を通して、自学自習の習慣化を図る。

令和2年度 学校教育基本指針

「生きる力」を育む15の取組～知・徳・体の調和のとれた育成～

めざす子ども像

(け) んこうで明るい子

(い) けんをもち、学び合う子

(と) もだちを大切にする子

(く) りかえし何度も挑戦する子

学校教育目標

心豊かに たくましく 自ら学ぶ 桂徳の子

～子どものよさを伸ばす教育の推進～

多様性を認め、
人とつながる

望ましい生活習慣
について意識できる

目標を自分で決め、
すすんで学ぶ

豊かな心（徳）

6. 道徳教育の充実
7. 伝統文化や芸術を通じ豊かな感性・情操を育む教育の充実
8. 規範意識の育成
9. 多様性を理解する姿勢の涵養
10. 支え合い高め合う集団づくりの推進と絆づくり

○「けいとくあたりまえ」（あたりまえをふやす）
○学校のきまり等について全教職員共通理解のもと指導を徹底する。

健やかな体（体）

11. 健康やスポーツの実践と体力の向上
12. 保健教育の充実
13. 飲酒・喫煙・薬物に関する指導の
14. 安全教育の充実
15. 食に関する指導の推進

○早寝早起き朝ごはん等基本的生活習慣を定着させる。
○自分の体や命の大切さを知る学習を推進する。

確かな学力（知）

1. 社会とのつながり・接続を実感できる授業への改善
2. 基礎的・基本的な知識・技能の習得と言語活動の充実
3. 探究活動を通して、主体的・対話的で深い学びの実現
4. グローバル化時代に対応する実践的英語力の育成
5. LD等支援の必要な子どもの学力向上

○ICT機器等を効果的に活用した学習活動を充実させる。
○地域の人材や教材を生かした教育活動を展開する。
○結果としての学力（調査等）を分析し、指導の改善を図る。

学校運営の柱～全教職員が進める確かな学校教育～ ○子どもの命を守りきる。○カリキュラム・マネジメントの視点をもって実践を進める。

○職責を自覚し、常に自己研鑽に努め、教育の質の向上を図る。○校種間連携・接続を推進する。○「困り」を抱える子ども一人一人に対する支援を行う。○「社会に開かれた教育課程」の下、保護者・地域と連携・協働した取組を推進する。○関係機関など社会と連携した総合的・継続的な支援を展開する。